

2020年10月20日
株式会社三菱UFJ銀行

阪神高速道路株式会社で「ソーシャルローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下 当行）は、阪神高速道路株式会社（代表取締役社長 吉田 光市^{よしだ こういち}、以下 当社）との間で、「ソーシャルローン」契約（以下 本ローン）を9月10日に締結いたしました。

阪神高速道路は、258.1kmのネットワークを有する関西都市圏の大動脈です。このネットワークの建設・管理を担うことで関西のくらしや経済の発展に貢献し、お客さまの安全・安心・快適を実現するため、当社は「先進の道路サービスへ」を理念として、高速道路ネットワークの整備や道路の維持管理等、さまざまな施策に取り組んでいます。高速道路事業は、持続可能な開発目標（SDGs^{※1}）にて掲げられた、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献する事業です。本ローンにて調達された資金は、当社が担う高速道路事業に充当され、交通安全確保、災害発生時の機能維持、渋滞対策、インフラの老朽化対策等の社会課題解決に向けたプロジェクトに活用される予定です。

なお、本ローンについては、格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する、ソーシャルボンド原則2020に適合したソーシャルファイナンスであるとの第三者評価を取得しております。

<プロジェクト詳細>

| 適格プロジェクト | プロジェクトの概要 |
|--------------|---|
| 高速道路の修繕・災害復旧 | ◇ 交通事故ゼロ、交通安全の確保 ・逆走および誤侵入防止対策 ・本線料金所機能移転 |
| | ◇ 災害発生時のリスク軽減と安全確保による機能維持 ・橋梁の耐震補強 ・地震、津波による大規模災害時の道路啓開機動力の強化 |
| 高速道路の新設・改築 | ◇ ミッシングリンク解消、リダンダンシーの確保等による関西都市構造の強靱化の実現・橋梁の耐震補強 ・交通渋滞や沿道環境などの交通課題の緩和 ・国際戦略港湾である阪神港の機能強化による物流の効率化 |
| 高速道路の特定更新 | ◇ インフラの老朽化対策 ・安心と安全を未来に繋げるべくリニューアルプロジェクト（大規模更新・大規模修繕）の実施 |

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

※1 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットから構成されています。



写真-1 床版取替の工事

大阪湾岸道路西伸部(14.5km)



写真-2 建設中路線(大阪湾岸道路西伸部)

淀川左岸線2期(4.4km)



写真-3 建設中路線(淀川左岸線2期)

淀川左岸線延伸部(8.7km)



写真-4 建設中路線(淀川左岸線延伸部)